

一般質問

加藤議員

福井勝山総合病院について

Q 質問 福井勝山総合病院が4月からスタートしたが、「地域協議会の開催等により地域住民の意見を聞いて運営に努めること」とされている。

A 答弁 地域協議会の構成は、勝山市、大野市からそれぞれ選任し、地元自治体、公募も含めた住民代表、医療・介護関係者の参加が必要。運営については、協議会の内容を公開し、広く検証できるようにすることが必要であると考える。

また、病院は医療だけでなく、地域振興への役割も大きく、特に女性の雇用の効果は大きい。住み続けられる地域づくりに病院はかけがえのない存在。地域協議会の構成・役割について伺う。

A 答弁 6月末よりスタートする地域協議会は、勝山市と大野市の医師会、行政機関、市民代表で構成される予定である。しかし地域医療機能推進機構が定める中期5カ年計画に掲げる取り組みを遂行するには、年に1、2回開催の協議会だけでは不十分であり、協議会以外にも医師会、行政機関との定期的な情報交換、連携、また市民への情報公開が不可欠と考える。

その他の質問
 ・医療制度について、介護保険制度について
 ・教育委員会制度改正について
 ・産業廃棄物の処理について

Q 質問

新機構への移行に伴い、看護師の退職者が続出し、病院機能低下が危惧されている。臨時職員の短時間雇用は病院運営にも障害になる。職員の労働条件の悪化は行わず、雇用の確保を病院に申し入れるべきと思うが見解を伺う。

A 答弁

新機構移行に伴い、全職員にいったん退職金を支払い再雇用という形から看護師退職増加の一つの引き金になったのは事実だが、看護師配置転換などにより支障なくスタートが切れたと聞いている。

地方の看護師不足に対し国では、制度基準の厳格化など改正に乗り出しているし、福井勝山総合病院も、今後引き続き看護師の募集が行われる見込みである。正職員の待遇にあつては、機構一律で全国規模の公的病院と同等の待遇であると聞いている。



福井勝山総合病院

丸山議員

東山いこいの森の全体計画について

Q 質問 東山いこいの森については、市議会建設産業委員会において、存続と廃止を含めて全体計画が協議された。課題も有るが利用者の増加を図ることを条件に、存続の方向で整理されたと同っているが今後の整備について市長の見解を伺う。

A 答弁

東山いこいの森は児童生徒の成長期に身近な自然に親しみ、素朴な自然の中で生活する体験が、文明の機器に恵まれた生活では気づかなかつた様々なものに気づき、人間が生きていく上で大切なことを得る絶好の場所になると考えている。建設産業委員会の指摘を受け、全体計画を見直す点はしっかりと検討するとともに、利用者を増やす対策を講じていく。

その他の質問
 ・修学旅行の誘致について
 ・要介護世帯等の個別ごみ収集について

して半数以下になる自治体の数は全体の49.8%になると報告している。勝山市は58.2%で県でも悪い順に4番目。私は市と家庭と同窓会が一体となつて、若者が帰ってくる努力が大切であると考え、市長の見解を伺う。

A 答弁

人口減少対策については、国が講ずる対策に、今後勝山市がいかにか早く対応して、国の政策に呼応する政策が打てるかが重要なことと考えている。

また、市外に出て行った子どもたちに対して、ただ戻って来いとラブコールするだけではなく、今ここにいる私たちが誇りに思える勝山市を作り、若者たちが子育てしたくなるまち、帰りたくなるまちをつくる持続的な努力をしなければならぬと考えている。

人口流出対策について

Q 質問

5月9日付けの新聞各紙は、大都市への人口流出が続けば自治体5割で若い女性が半減するとの大きな見出しで伝えた。日本創成会議が若年女性の数を試算して2040年には2010年と比較



東山いこいの森